

【解説】

- (1) 路肩部等の舗設は、一般にフィニッシャでは施工が困難であるので人力施工とすることとした。この場合、所定の横断形状に仕上げるためには温度管理が重要となる。したがって、その舗設に当っては、速やかに仕上げるのが大切である。

4.5.3 トンネルの路肩部等の舗装

(1) 概説

- (1) トンネルの路肩部等の舗装の新設工事および打換え工事の施工は、「4.3.1 コンクリート床版上の路肩部等の舗装」に準ずるものとする。

4.6. 部分補修

4.6.1 緊急補修

(1) 緊急補修

- (1) 常温混合物による孔埋を行う前に、損傷付近の劣化したアスファルト混合物、水分や塵などを取り除く。
- (2) 孔埋用の常温混合物は、3.8の規格値を満足する常温混合物を使用すること。

【解説】

- (1) 常温混合物は、一般の加熱アスファルト混合物と比べ、施工が簡便な反面、耐久性が低い傾向にある。少しでも付着力を向上させるため、施工前に清掃を行ってゴミ等を取り除いておく。耐水性を高め、雨天時にも付着力を確保できるようにしたという製品もあるが、このような製品であっても、水分が少ないほうが良好な付着が期待できるため、可能な限り水分除去を行うようにする。
- (2) 常温混合物は、3.8に規定する常温混合物を使用することとする。
- なお、これらの常温混合物の品質管理については、各材料の製造業者の推奨を参考にして定めるとよい。常温混合物は、適切な環境のもとで保管するようにし、使用期限を越えたものは使用してはならない。